

日本遺伝カウンセリング学会研修委員会からのお知らせ

2024年度から、『遺伝カウンセリング研修会』の開催形式が変わります！

臨床遺伝の有資格者がより参加しやすい形でロールプレイを通じて遺伝カウンセリングの態度と技術を磨けるプログラムを提供するため、『遺伝カウンセリング研修会』のプログラム（開催形式）を2024年度より以下のように変更します。

1. 遺伝カウンセリングのロールプレイ演習に特化した研修会とし、オンデマンド講義は日本人類遺伝学会ホームページのWebCastで視聴可能な「事例（症例）」、「遺伝カウンセリング」、「ロールプレイ実習」の基本講義のみにします。
2. 土・日曜の連続2日間で4領域（2領域/日）のロールプレイ演習を行います。両日参加に加えて、いずれか1日のみの参加も可とします。なお、参加費、臨床遺伝専門医・認定遺伝カウンセラー更新単位は、参加日数にあわせて設定する予定です（詳細は未定）
3. ロールプレイ演習では、一日の総時間は変更することなく、グループ内でのフィードバックや全体での討論時間を十分取ることで、臨床遺伝の有資格者である参加者の学びの共有や理解の深化につながるようプログラムを工夫します。
4. 研修会の対象者は、これまで通り、臨床遺伝専門医または認定遺伝カウンセラーの有資格者です。

これらの変更は、これまで参加希望者から参加へのハードルとして寄せられていた、①ロールプレイ演習前に8講義前後のオンデマンド講義を見る時間がとれない、②2日間連続でロールプレイ演習に参加することができない、という課題の見直しによるものです。

臨床遺伝の有資格者が知識を更新するための座学としての講義に関しては、日本人類遺伝学会大会における教育プログラム（遺伝医学セミナー実行委員会などがカリキュラム担当予定）などに引き継がれる予定です。

なお、2024年の第14回遺伝カウンセリング研修会は、7月20日（土）に周産期・成人領域、21日（日）に腫瘍・小児領域のロールプレイ演習をオンライン形式で行う予定です。上記の変更を踏まえて、是非ご参加をご検討下さい。

日本遺伝カウンセリング学会研修委員会 委員長
井本逸勢
山本佳世乃